

1. リーダー層の大量退職と保育者の若年化。
キャリアステージに応じた研修。育て合う仕組みづくりと支援。

2. 幼児教育の専門家としてのスキルと使命感。
教科書のような主たる教材を用いない「環境を通して行う教育」の難しさを乗り越える研修。

次世代の若き実践者を育てる楽しみ

鳴門教育大学附属幼稚園の人材育成戦略

チーム鳴教大として、共に保育を創るマネジメント



協働・同僚性の発揮

① フレッシュ

② ミドル

③ ミドルリーダー

④ リーダー

保育者・幼児・遊具財の
どのような相互作用がどのようなチーム力や個々の成長を促すか

鳴門教育大学教員による考察



「保育の質」を問い、質を高めるための方略

フレッシュな若手を育てる過程で、中堅(ミドル)や主任(ミドルリーダー)も基本を再確認し、育つことを実感

14

専門性を磨くとは？

保育者の専門性を構成する2つの要素

A. 概念的知性

保育理論 記号的知性



B. 直感的応答力

直感 身体的知性



前山梨大学教授 加藤繁美先生

15

3年後の成長

「わからないことが、わからない」からの成長

環境を通して行う

援助をする

言葉がけ

環境を構成する

子どもと関わる

- 具体的な方法は？
- 明日のために、今何をすればいい？
- 保育者として、どうあるべき？



ミドルリーダーがファシリテーターとなって若手を保育のおもしろさに誘っていく。～保育の技術から保育のスピリットへ～

子どもや保育を見る。語る。記録する。振り返る。改善する。

(園内研修の積極的な実施、公開保育等による他園との学び合い、保育・幼児教育アドバイザーなどの外部人材の活用等々がよい機会となっている)

18

ミドルリーダーの言葉から試みたこと



具体が見えるきっかけ…

掃除

このようなことを達成するための手がかり

生活を大切に
みんなが気持ちいい場所に
生活をより良くするために

今までは…

綺麗に掃除をする

という**抽象的**な認識

具体的な方法のひとつ…

ゴミ箱を増やす

方法によって、保育者の気持ちが込められた。

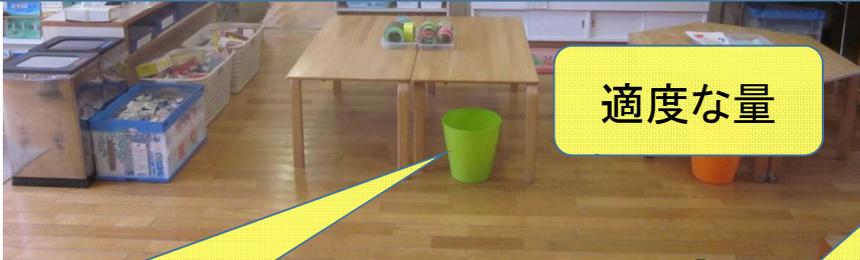
19



“綺麗に掃除をする”の具体

言語では表せない、生活にとっての
子どもに合った手頃感

有益さや便利さが、いろいろなものを惹き
つけていき、生活がさらに面白くなる



すぐに捨てられる、
ちょうどいい場所

ある程度ゴミが溜まり、持ち運び
やすく邪魔にならない大きさ

20

様々な保育環境への意識の変化



- 込めた気持ちを子どもに語る
- ↓
- 気持ち分かちあえ、子ども達も共感してくれる
- ↓
- 気持ちのいい快適な生活の仕方について考えたり、アイデアを出し合ったりできるようになる
- ↓
- ゴミ箱以外の様々な保育環境について、意識が向くようになる

花壇の準備(来年度の春を意識して)



事例 たまご？うんち？ 2年保育4歳児 5月

子どもたちが、アオムシの下に緑色の粒が落ちているのを見つけ、
「これはなんだろう？」
「うんちじゃ。」
「たまごだと思う。」
「くさいからうんちだよ。」
「くさいたまごじゃないの？」
「緑色だからたまごだよ。」
と、口々に自分の考えを言い合う。



すると、アオムシのおしりから緑色の粒がポロっと落ちた。その瞬間を、ハナは見ていた。

保育者とハナは目を見合わせた。「今の、見た！？」と保育者。

「うん！おしりから、でてきた！これは、うんちだったんだ！私は卵だと思っていたけど、違ってた！うんちだ！」とハナが興奮気味に話した。ハナは笑顔で、とても嬉しそうだった。その後も、登園するとすぐに青虫の様子を見に行く日がしばらく続いた。



24

環境とかかわって創り出されるだろう遊びが『絵』になる。

★環境に誘われて遊ぶ子ども。

☆遊ぶ友達の様子に誘われる子どもや保育者。



25

保育の準備への思い

- * 環境に思いを寄せることで、様々な環境のもつ魅力に触れることができる。
- * 環境に心を開いた状態になることで、子どもたちが環境とかかわる様子にも心が開かれるようになる。



すると・・・

- * 子どもたちも、そんな保育者に心開き、親しみをもって、かかわるようになる。

保育者が環境と繋がることで、
子どもと繋がることを実感



26

5年目の挑戦





3. 新しい3法令（幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育・保育要領）の実践初年。

幼稚園教育要領の着実な実施に向けた本園の実践の方略

1. 園長の園運営マネジメント
 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を具体化しながら、入園から修了までの教育課程を見直し、教育課程を再編し、より質の高い幼児教育の展開を図る。



2. 特に5歳児担任のカリキュラム・マネジメント
 各園における5領域に基づく総合的な指導の全体を通して育まれている資質・能力の5歳児最後の頃の具体的な姿のイメージ化。
 保育者が指導する際に考慮するものであるとともに、小学校教員と共有し、発達をつなぎ指導の継続性を図るものとして活用する。

3. 特に3・4歳児担任のカリキュラム・マネジメント
 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の発達のプロセスを把握し、それらが促される遊びや環境の構成を工夫する。

目次

① 幼小接続の教育課程の見直し

② 小学校スタート時期の指導計画見直し

③ 月別指導計画の見直し

④ 幼稚園教育要領の理解の深化のための日々の事例研究
～「数量・図形、標識や文字などへの関心・感覚」を例に～

まとめー保育・幼児教育アドバイザーの現場支援のポイントー

- 1 各園の課題の把握
強みと弱みの可視化
- 2 園長のリーダーシップを支援
園長の個性に合った人材育成と運営マネジメントの提案
- 3 職員の協働・同僚性の発揮を促進
園内研修の活性化
- 4 教育委員会、附属幼稚園、大学等、関係諸機関との連携促進。
パイプ役・コーディネーター役



① フレッシュ

② ミドル

③ ミドルリーダー

④ リーダー

